

# 高齢者骨折後の骨粗鬆症治療の現状 -横浜市のリアルワールドデータ活用-

- 【背景】 骨粗鬆症は無症状疾患なのでハイリスク者を評価/治療して2度目の骨折を防ぐことが重要
- 【目的】 横浜市で骨粗鬆症ハイリスク群に対してどの程度治療が開始されているか明らかにする
- 【方法】 2014年10月-2015年4月に骨折した65歳以上の市民に対してその後骨粗鬆症治療薬が処方されるかを調査

**【結果】 骨折の後、骨粗鬆症治療が始まる高齢者は17.3%にとどまる**

特に75歳未満に対して骨粗鬆症治療の第一選択薬とされるビスフォスフォネートの処方が少ない

**【今後の展望】 骨粗鬆症評価、治療の重要性の啓発  
治療開始の障壁となる要素についてさらに分析を進める**